

横浜市小学校社会科研究会

3学年部会

## 研修会記録

第 4 号

令和5年 10月4日

横浜市小学校教育研究会

会長 濱田 哲也

横浜市小学校社会科研究会

会長 加藤 和之

同 学年部長 権正 倫範

【提案日時】

9月 6日 (水)

提案 三浦 智 先生 (高舟台小)

【会 場】

平沼小学校

司会 田川 晋哲 先生 (山元小)

記録 結城 巳貴 先生 (浦島小)

### 1 提案内容 単元名

単元名「地域の安全を守る ～高舟台のまちを火事からまもるには～」

### 2 提案者より

○学校・児童の実態について

- ・ 金沢区の山側、小高い丘に学校があり、消防の視点で見ても特徴のある地形に学区がある。
- ・ 元気な子どもたちが多く、これまでもカイコ等、本物との触れ合いを通しての学びを大切にしてきた。
- ・ 本単元でも人との関りを大切にしていきたい。
- ・ 保護者が消防関係の児童も在籍している。

○本単元について

- ・ 地域に根付き活動している消防団は、地域をよく知っている（防器具保管場所、高齢者の情報等）ので、初期消火の際に頼りになる。
- ・ 消防と消防団は両輪の関係であることが必要不可欠であり、消火（消防署・消防士）→予防（消防団）という流れを考えている。

### 3 協議会

○“自分達のまち”という意識がもてる導入とは ※現段階：放水体験

- ・ 放水体験だと「楽しかった～」で終わってしまう恐れがあり、物足りないかもしれない。
- ・ メラメラ燃える火を見せるのが効果的かもしれない。（要配慮）

○消防団への視点のシフトの仕方

- ・ 消防署・消防士との関りの中から出会わせていく。
- ・ 子どもたちの思考の流れに沿って出会わせていきたい。
- ・ 消防署見学の際に、きっかけをもたせる。

○その他

- ・ 消火（消防署・消防士）とターゲットを絞るのか、“誰が”という問いを立て広義で扱うようにするのか、様々な単元の通し方がある。
- ・ 本気の学習問題への繋がりを意識して、意図をもって効果的に動画を使用するのが大切である。

○次回の検討に向けて

- ・ 単元の全体の流れの検討
- ・ 学習支援がより必要な児童に対しての、本単元における効果的な手立て

<講師の先生より> 平戸小学校 若色 昌孝 校長先生

① 自分達のまちがかなり守られていることに気付ける

② 気にもしていなかったことを、気にすることができるようになる

③ このまちって結構いいじゃん!!と思えるようになる

④ 守ってくれている人達に注目できるようになる（消防団ではない人を責めるのではなく）

①～④の様なステップを踏みながら、単元を通して子供達の「ものの見方」へのアプローチに挑戦していけるといい。

文責 北沢 宏（ 間門小学校 ）